

WebClass Ver.11.8.0 リリースノート

日本データパシフィック株式会社
2020/1/29

Table of Contents

1	概要.....	1
1.1	必要な環境.....	1
1.2	v11.7.1からのアップデートについて.....	1
2	主な変更点.....	2
2.1	出席機能.....	2
2.2	教材編集画面の開き方.....	3
2.3	シラバスプラグインのリリース.....	4
3	変更点詳細.....	5
3.1	ログイン後の画面.....	5
3.2	コースの教材.....	5
3.3	コース管理.....	9
3.4	システム管理者.....	10
3.5	学習記録ビューア v4.2.0 -> v4.3.0.....	10
3.6	教職履修カルテプラグイン v2.2.1 -> v2.2.4.....	11
3.7	修学カルテプラグイン v2.9.1 -> v2.13.2.....	11
3.8	授業評価アンケートプラグイン v2.9.3 -> v2.11.2.....	12
3.9	WEBCLASS ユーザ活動情報 プラグイン v2.1.1 -> v2.2.0.....	13

1 概要

出席機能の設定画面と出席状況一覧画面が変わりました。学習記録ビューアでは、出席状況を時系列で確認できる画面の追加と、シラバスプラグインをリリースしました。

その他、バグ修正や使いやすさの改善のための調整があります。

1.1 必要な環境

- WebClass ver. 11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.0
- PostgreSQL require 8.4 ~ 9.6

1.2 v11.7.1からのアップデートについて

学習記録ビューアの授業評価アンケートプラグインを利用している環境では、データ量に応じて更新処理に時間がかかります。

2 主な変更点

2.1 出席機能

出席機能の、授業コマの作成方法や、出席のステータスの表示が変わりました。新しい画面が適用されるのは、システムオプション「ATD_SETTING_OPEN_FROM_NOW_OPTION」が0に設定されている環境です。

出席基本設定

授業日 公開しない

01/08(水), 01/15(水), 01/22(水), 01/29(水), 02/05(水), 02/12(水), 02/19(水), 02/26(水), 03/04(水), 03/11(水), 03/18(水)

2020年03月

出席扱い 開始後 5 分間 遅刻扱い その後 5 分間 必要出席数 8回

授業コマを作成する

授業日を選択して[授業コマを作成する]ボタンをクリックしてください

カレンダーより授業日を選択して出席教材を作成します。

ステータスは、出席(出)、欠席(欠)、遅刻(遅)、未操作(-)となります。※()の文字が表示されます。

出席状況一覧 - ネットワーク講習会(デモ)

ユーザID 再表示 ワイルドカード * 任意の一文字? で指定。複数の条件は or で連結。

> 出席一覧のダウンロード

Mail	氏名	ユーザID 数字部分	01/08	01/15	01/22	01/29	02/05	02/12	02/19	02/26	03/04	03/11	出席回数	遅刻回数	欠席回数
			▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼			
<input checked="" type="checkbox"/>	出席		3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7		
	遅刻		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	
	欠席		0	0	1	3	3	3	3	3	3	3			22
<input checked="" type="checkbox"/>	名前user001	user001	出	出	出	-	-	-	-	-	-	-	3	0	7
<input checked="" type="checkbox"/>	名前user002	user002	出	遅	出	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7
<input checked="" type="checkbox"/>	名前user003	user003	出	出	欠	-	-	-	-	-	-	-	2	0	8

また、学習記録ビューア上で学生が履修する全コースでの出席状況を一覧できる機能を追加しました。高等教育の修学支援新制度に伴い、その支援を受ける学生は、学修意欲を問われます。学生は今後いっそう自身の出席情報に気を使う必要があります。WebClassでの活動を俯瞰できるコース活動状況画面で、出席状況も確認できるようにしました。



2.2 教材編集画面の開き方

教材一覧から教材の設定画面や設問編集画面を開いたり閉じたりして操作できるようになりました。これまでは設定画面等を開いた時、モーダルウインドウの裏では教材の「公開状況」画面に切り替わっていて、設定画面を閉じると「公開状況」画面に戻っていました。教材一覧から設定画面や設問編集の画面を開いて、閉じた時には教材一覧画面に戻るようになりました。



この変更に伴って、教材の「公開状況」画面を開いた時に表示されるタブから「設定」と「設問編集」の画面は除きました。



この変更とともに、e ポートフォリオ・コンテナの設定画面も、テストや資料教材と同様に「・・・」のメニューから「設定」を選択して開くようになりました。教材名をクリックして開くと、学生の成果物を確認したり評価をすることができますが、編集ボタンはなくなりました。

2.3 シラバスプラグインのリリース

学校のシラバスを WebClass 上で管理し公開できる機能、シラバスプラグインをリリースします。マニュアルを以下に用意していますので、是非確認してみてください。

<https://webclass.jp/manuals/admin/integrated-portfolio/plugins/syllabus/index.html>

※シラバスプラグインは有償プラグインです。詳細はサポートまでお問い合わせください。

3 変更点詳細

3.1 ログイン後の画面

- コース参加確認画面
 - 「メンバー限定モード」が設定されているコースにおいて、コースに参加していない学生が公開 URL を使ってコース参加確認画面に移動すると、[メンバーになる]ボタンが表示されてしまっていたため、表示されないよう変更しました。(1988)

3.2 コースの教材

- タイムライン
 - アンケート作成画面で、設問形式「選択肢のみ」の英語モードでの表記を変更しました。Line -> Choices only (1968)
- 教材一覧画面
 - 「教材を作成する」画面では、English モードの時、文字が見切れる問題を修正しました。(1937)
 - 「教材並び替え/ラベル設定」画面で [新しいラベル] [ラベル修正] ボタンを押して表示されるプロンプトをバイリンガル対応しました。(1985)
 - 「公開/非公開設定」画面を Internet Explorer 11 で開くと、カレンダーをクリックすると即座にカレンダーが閉じてしまう問題があったため、カレンダーが表示され続けるように修正しました。(1983)
 - 「公開/非公開設定」画面で、選んだ教材数が多い場合に、画面下部の一括設定用フォームがスクロールで隠れてしまう場合があるため、一括設定用フォームを画面上部に移動しました。(2005)
 - コース管理者の教材一覧で、教材の更新日にマウスカーソルを合わせると詳細な日時をポップアップ表示していましたが、更新したコース管理者の名前も表示するようにしました。(2004)
 - コース管理者の教材一覧で、教材が含まれない空のラベルがあるときは、枠の中に「中身が空のラベルは学生画面には表示されません。」の注意書きを加えました。(2004)
 - 教材の「オプション設定」画面と「編集」画面を、教材一覧画面上でダイアログを開くようにしました。(2009)
 - iPad OS の Safari で表示すると [教材並び替え/ラベル設定] のリンクが表示されていましたが、iPad での並び替え操作に対応していないため、非表示にしました。(2012)
 - e ポートフォリオ・コンテナの教材のメニューに [設定] を加え、直接設定画面を開けるようにしました。(2012, 2084)
 - テストや資料の教材と同じように、教材一覧から [設定] で設定画面を開いたら、[変更を保存して終了] ボタンで教材一覧に戻ります。
- 教材「別コースへ一括コピー」画面

- 学部・学科の設定された教員が「別コース一括コピー」画面を開くと、操作対象コースが教員アカウントの学部・学科と一致するコースに制限されていました。担当しているコースはどのコースでも指定できるようにしました。(I2085)
- 教材 開始確認画面
 - 「時間制限」オプションと「回答の見直しを許可」オプションが同時に指定されている教材を開始するときは、開始確認の画面で「制限時間についても、前回の残り時間から再開します。」という注意書きを表示するようにしました。(I2004)
- 教材 オプション設定画面
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番(月日年)に表示するようにしました。(I1973, I1976)
- 教材 公開状況画面
 - English モード時、日時制限の表現を自然なものにしました。(I1976)
- 教材 利用状況画面
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番(月日年)に表示するようにしました。(I1973)
- 教材 学習履歴
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番(月日年)に表示するようにしました。(I1973)
- テスト 設問編集画面
 - 「ループリックの編集」画面において、ループリックのサンプルファイルをダウンロードできるようにしました。(I1999)
 - 複数の先生が同じ教材の「設問編集」画面を同時に開いている時、編集結果が競合する可能性があったため、競合が発生する状況では警告を表示した上、編集結果が保存されないようにしました。例えば、先生 A と先生 B が同じ教材に対して設問を編集出来る状況のとき、時系列順に A が編集を開始する→B が編集を開始する→B が編集結果を保存する→A が編集結果を保存する、という操作を行った場合に、従来では"B の編集結果"を"A の編集結果"で上書きしてしまっていたため、A の画面では警告が表示され、"A の編集結果"が保存されなくなりました。この警告が表示された場合、先生 A は「設問編集」画面を開きなおし、編集をやり直してください。(I2025)
- レポート 実行画面
 - モバイルモードでレポート教材を実行しファイルをアップロードした際、アップロード途中で通信が途中で途切れるなどの不具合が発生した場合、エラーは出るが記録は残ってしまい「マイレポート」「レポート/記述式問題の採点」などから記録が見えてしまう問題が発生していたので、そういった場合は記録を残さないように修正しました。(I2077)
- レポート/記述式問題の採点
 - 一括採点機能を利用して WebClass にアップロードする、zip ファイルの中に含まれる採点ファイル名にひらがな、カタカナ、漢字を含めることができるようにし

ました。ただし、半角カタカナ、機種依存文字を利用することはできません。この機能を有効にするためにはサーバー側の設定が必要です。(!1981, !1998)

- 学生の公開レポート画面
 - ユニット教材に含まれるレポート課題の一つから「公開レポート」画面を開いてから、そのユニットに含まれる他のレポート課題の公開レポートに表示を切り替える操作を行ったところ、リンク切れとなっていました。切り替えることができるように修正しました。(!2086)
- アンケート集計
 - コース管理者の「アンケート集計」画面で、未提出者を表示した時に、未提出者一覧表に回答時間等の不要な列を表示しないようにしました。(!2003)
- 問題ごとの成績
 - コース管理者の「問題ごとの成績/再採点」画面で、未提出者を表示した時に、未提出者一覧表に回答時間等の不要な列を表示しないようにしました。(!2003, !2070)
- 成績一覧
 - English モード時の画面名を変更しました。 Score Summary -> Score Summary Table (!1937)
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番（月日年）に表示するようにしました。(!1973)
- 進捗状況一覧
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番（月日年）に表示するようにしました。(!1973)
- 出題分野ごとの成績（教員用）
 - English モード時の画面名を変更しました。 Category Scores -> Grades by Category Table (!1937)
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番（月日年）に表示するようにしました。(!1973)
- 出題分野ごとの成績（学生用）
 - English モード時の画面名を変更しました。 Category Scores -> Grades by Category Table (!1937)
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番（月日年）に表示するようにしました。(!1973)
- 出席
 - 機能名「出欠」を「出席」に変更しました。（コースのメニュー名などが変更になりました）(!2072)
- 出席機能
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番（月日年）に表示するようにしました。(!1973)
 - 出席機能をリニューアルしました。システムオプション `ATD_SETTING_OPEN_FROM_NOW_OPTION` が 0 の際に有効となります。(!2064, !2081)

- 出席の授業コマはカレンダーで日付選択して作成する方式となりました。作成した授業コマのタイトルには選択した日付が付与されます。
 - システムオプション **ATD_STATUS_TYPE** の切り替えで、出席状況一覧の出席データの表示が出席ステータス(出/欠/遅/-)と点数の 2 パターン可能となりました。
 - 出席状況一覧の編集機能を移動し、出席状況を確認しやすい画面に変更しました。
 - CSV ファイルによる出席データの一括修正時に修正理由のコメントを記入出来るようになりました。
 - システムオプション **ATD_CONSIDER_FOR_STUDENT_HIDDEN** で、学生画面の授業コマの開始-終了時刻の表示/非表示の切り替えが可能となりました。
- 出席状況一覧
 - 出席遅刻欠席回数でソートできない問題を修正しました。 (!2045)
- チャット
 - チャットへの投稿を行う際、セッション上のコースをチェックし、教材があるコースにいない時は書き込みできないようにしました。 (!1967)
 - 仕様外の操作として同じブラウザの複数のタブやウインドウで **WebClass** を同時に開いてチャットを操作した時のためのチェックです。
 - 片方のタブでチャットを開いていても、もう片方のタブでコースを切り替えてしまうと、教材の利用を継続できなくなります。
 - 匿名で利用するオプションの名称を「匿名の投稿を許可」から「投稿者名を匿名にする」に変更しました。 (!2001)
 - 「オプション設定」画面で「投稿者名を匿名にする」オプションのポップアップヘルプが掲示板教材の物になってしまっていたため、チャット教材のヘルプが表示されるように修正しました。 (!2001)
- 類似レポート検知
 - **English** モード時の画面名を変更しました。 **Search Similar Essays -> Similar Essay Detection** (!1937)
 - データを新規アップロードして実行した際、含まれるテキストの一文が長い時、後半がカットされてしまう問題を修正しました。 (!2027)
- マイレポート
 - **English** モード時の画面名を変更しました。 **Report List -> Submitted Essay List** (!1937)
- ファイル再生
 - **Firefox** で **WAV** ファイルが再生されない不具合を修正しました。 (!1991)
- e ポートフォリオ・コンテナ
 - 「e ポートフォリオ・コンテナ評価分析」画面で集計期間を指定してダウンロードファイルを生成した時、集計期間が反映されずに全期間の成果物が含まれていました。集計期間を反映してファイル出力するようにしました。 (!1996)
 - e ポートフォリオ・コンテナ教材のインポートについて、以下を修正しました。 (!1998)
 - e ポートフォリオ・コンテナ教材だけをエクスポートしたファイルをインポートすると、必ず強行インポートモードの表示になっていました。イン

ポートしたコースとエクスポートするコースが同一でない限り、通常のインポートモードになるようにしました。

- ラベルのない e ポートフォリオ・コンテナ教材をインポートすると、強制的に「e ポートフォリオ・コンテナ」のラベルが付与されていました。ラベルがない時は、ラベルなしで教材一覧の最後尾に追加されるようにしました。
- レポート課題と関連づけた e ポートフォリオ・コンテナ教材をインポートすると、関連が復元できませんでした。関連づけたレポート課題とセットでエクスポートしたファイルをインポートすると、e ポートフォリオコンテナはレポート課題で提出する設定を復元するようになりました。
 - レポート課題と関連づけた e ポートフォリオ・コンテナ教材をコピーすると、関連がコピーされませんでした。関連づけたレポート課題とセットでコピーすると、関連づけを維持したままレポート課題と e ポートフォリオコンテナをコピーするようになりました。(I2085)
- FAQ / 用語集
 - 編集モードでダウンロードできるサンプルファイルについて、日本語・英語の言語切り替えに対応しました。(I2016)
- 学習カルテ
 - 「学習カルテ作成」画面から入る「ループリックの編集」画面において、ループリックのサンプルファイルをダウンロードできるようにしました。(I1999)
 - カルテの形式がループリック時の「ループリックを編集」において、保存時にブランクを埋めていない場合に更新されない問題が起きないように修正しました。(I2014)
 - カルテの形式がループリック時の「ループリックを編集」において、途中の列を削除した際に列の値がずれてしまう問題が起きないように修正しました。(I2014)
- 授業支援ボックス連携
 - 集計スキャン結果の掲示板通知機能で授業支援ボックスからの結果ファイルの受信に失敗すると、DB に空のスレッドのレコードが生成され、PC 版の掲示板の質問/テマ一覧画面を開いた時にシステムエラーが発生しました。エラー処理を修正しました。(I2057)

3.3 コース管理

- コースメンバーグループ設定画面
 - グループセット作成に用いるサンプルファイルについて、日本語・英語の言語切り替えに対応しました。(I2016)
- コースメンバーアクセスログ画面
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番(月日年)に表示するようにしました。(I1973)
 - 「>> CSV ファイルでダウンロード」からダウンロードできる CSV ファイルについて、日本語・英語の言語切り替えに対応しました。(I2016)
- コース利用状況
 - English モード時の画面名を変更しました。Course Access Analysis -> Course Usage Status (I1937)

- 教材数に、自動生成したタイムラインと、シラバスとが計上されていました。これらを除くようにしました。(!1960)
- コース利用状況集計
 - English モード時の画面名を変更しました。Access Analysis -> Usage Status (!1937)
 - English モード時、日付選択 UI の英語を自然なものにしました。アメリカ式の順番（月日年）に表示するようにしました。(!1973)
 - グラフ横軸の時刻が重なって見づらい問題を解消しました。(!1995)
- マニュアル
 - 「資料」および「テスト」形式の教材の一括取り込みに用いるサンプルファイルについて、日本語・英語の言語切り替えに対応しました。(!2016)
 - マニュアルを更新しました。(!2078)

3.4 システム管理者

- 新着メッセージに添付ファイルがついている時、添付ファイルのアイコンがリンク切れで表示できなくなっていたのを修正しました。(!2070)
- システム管理者利用状況集計
 - コースのディスク使用量を計算したとき、ダウンロード CSV ファイルにディスク使用量データが含まれていませんでした。CSV ファイルにもディスク使用量データを含めるようにしました。(!1960)
 - 各コースの教材数に、自動生成したタイムラインと、シラバスとが計上されていました。これらを除くようにしました。(!1960)
- コース&メンバーの一括登録/変更(システム管理者)
 - CSV ファイルを用いてコースメンバーの追加や変更を行った際、「コースメンバーの処理結果」において更新が適用された数が重複して数え上げられていたため、正しい数になるよう修正しました。(!2015)
 - CSV ファイルを用いてコースの「学部」および「学科」指定を解除できなかったため、CSV ファイルの学部・学科列をブランクにして更新をかけた場合、指定を解除できるように変更しました。(!2015)

3.5 学習記録ビューア v4.2.0 -> v4.3.0

- 学習記録ビューア管理画面で組織インポートのサンプルファイルをダウンロードできるようにしました。
- 学習記録ビューア管理画面の組織メンバー一覧で、削除済みユーザは「このユーザは削除されています」と表示するようにしました。
- WebClass 削除済みアカウントと同じユーザ ID でアカウントを作成し、組織メンバー登録等を行うと、削除済みアカウントの情報を引き継いでしまうことがある問題を修正しました。
- PHP5.3 の環境では「システム管理者追加」「組織メンバー追加」「下位組織追加」画面でユーザ ID に「_」を含むユーザが検索できない問題を修正しました。

3.6 教職履修カルテ プラグイン v2.2.1 -> v2.2.4

- 「必要な資質能力について」の自己評価雛形ファイル登録機能をオプション化し、デフォルトでオフにしました。
- 教職履修カルテ TOP 画面にてカルテの並び順を以下の順番に修正しました。
 1. 必要な資質能力についての自己評価
 2. 活動報告（介護など体験レポート及び教育実習レポート）
 3. 面談記録
 4. その他の教職に関する活動等
- “ENABLE_MAIL”（メッセージ機能）のシステムオプションを教職履修カルテにも反映出来るようにしました。

3.7 修学カルテ プラグイン v2.9.1 -> v2.13.2

- Internet Explore 11 で印刷用画面のレーダーチャートが表示されない問題を修正しました。
- message-form タグ内の markdown の内容が画面に反映されない問題を修正しました。
- appendable-card タグの layout 属性が categorized で、category-field-id を設定しないとき、印刷用画面でエラーになる問題を修正しました。
- appendable-card タグの layout 属性が categorized で、カテゴリ項目の形式が単数選択以外のとき、未入力カテゴリのラベルを「未選択(\$件数)」から「(\$件数)」に変更しました。
- 修学カルテ画面内の「学生」「アドバイザー」「ユーザ ID」の用語とカルテの編集ボタンのラベルを大学ごとに変更できるようにしました。
- 外部評価機能が PHP5.3 の環境で動作するようにしました。
- ディレクトリトラバーサル攻撃に関する脆弱性へ対策を施しました。
- カルテデータエクスポート時の zip ファイル名がリンクに表示されているものと異なる問題を修正しました。
- メッセージが email に転送されない問題を修正しました。
- レーダーチャートにできるループリック項目がないとき、summary にレーダーチャートのローディングが表示され続ける問題を修正しました。
- トップ画面から修学カルテ（管理）へのリンク先を、他のプラグインも含めた管理画面から、修学カルテのみの管理画面に変更しました。
- 「カルテ詳細」画面のユーザを選択するドロップダウンに、ユーザ ID を併記するようにしました。
- ループリック項目の回答の 0 と未回答を区別して表示するように修正しました。

- "ENABLE_MAIL"(メッセージ機能)のシステムオプションを修学カルテにも反映出来るようにしました。
- 親カテゴリを持つ単数選択形式の入力項目を設定できる機能を追加しました。
- これまで単数選択形式の入力項目は一度入力すると未選択の状態に戻せませんでした。ラジオボタンを再度クリックすることで未選択の状態に戻せるようにしました。
- これまでループリック形式の入力項目は一度入力すると未選択の状態に戻せませんでした。ラジオボタンを再度クリックすることで未選択の状態に戻せるようにしました。
- トップ画面に表示される修学カルテへのリンクの名称を変更できるようにしました。
- **summary** に表示されるレーダーチャートについて、対象のデータやラベルを指定できるようにしました。
- 自動的に表示されるレーダーチャートについて、学生と教員の両方に表示されるデータを対象としていましたが、学生に表示されるデータを対象とするように変更しました。
- カスタムエクスポート機能が動作しない問題を修正しました。

3.8 授業評価アンケート プラグイン v2.9.3 -> v2.11.2

- ユーザに配布するとき、WebClass で削除されたアカウントには配布できないように修正しました。
- アンケート集計画面で、他の設問は回答し記述式設問だけスキップした回答があった場合、その設問のスキップ数が 0 と表示されていた不具合を修正しました。
- アンケートインポートで、CSV ファイルをアップロード後、アンケート名入力欄を空にして保存できてしまう問題を修正しました。
- アンケート集計画面で全ての回答をエクスポートした際、ファイル形式の回答ファイルが zip に含まれない問題を修正しました。
- Internet Explore 11 で、アンケート編集画面で「設問番号表示」をクリックしても反映されない問題を修正しました。
- Internet Explore 11 で、組織への配布編集時に、対象組織を検索した後表示される画面で、全選択用チェックボックスが正常に機能していなかった問題を修正しました。
- コース配布でアンケートを実施したとき、深夜の学習記録ビューアコースメンバー同期処理が完了するまで、追加した WebClass コースのメンバーがアンケート対象にならない問題を修正しました。
- 管理者の集計結果画面で、「組織ごとに集計してエクスポート」は組織配布のもののみ対象にするように、「コースごとに集計してエクスポート」はコース配布のもののみ対象にするように変更しました。
- 管理者の集計結果画面からエクスポートできる CSV ファイル内に、実施名を出力するようにはしました。
- 「アンケート回答」画面でセッションの自動更新が行われるように修正しました。

- 「アンケート講評入力」画面でセッションの自動更新が行われるように修正しました。
- 「アンケート編集」画面の表形式設問の編集で、[1 行追加][1 行削除]ボタンのラベルが[1 列追加][1 列削除]となっている問題を修正しました。
- アンケート編集画面で、設問番号が改行されてしまう問題を修正しました。
- アンケート作成時に、設問番号表示オプションのデフォルトを ON に変更しました。
- アンケートの必須項目のマークを「※」だけから「必須」ラベルで明示するように変更しました。
- アンケート管理画面で、「編集」「講評編集」「実施」「集計」とタブが並んでいましたが、「講評編集」を「編集」タブの下層に移動しました。
- 「組織に配布」で実施したとき対象の組織検索画面で、親組織のパスの表示が親子順に正しく並ばない問題を修正しました。
- 実施記録画面にて、未回答者へメッセージを送る際、添付ファイルが添付されず送信されてしまう問題を修正しました。
- アンケート管理画面にて、操作ミスによりアンケートを削除してしまうことがあったため、アンケートと実施を削除するボタンの位置を変更し、それぞれの削除ボタン押した際にアンケート回答者の人数の表示を行うようにしました。
- "ENABLE_MAIL"(メッセージ機能)のシステムオプションを授業評価プラグインにも反映出来るようにしました。
- 回答締切を過ぎている状態で、尚且アンケート実施者がアンケート終了ボタンを押していないとき、未回答者数がゼロとしてカウントされる問題を修正しました。
- アンケート終了後、コース配布の実施設定画面を開くと画面が途中で途切れる問題を修正しました。
- 各アンケートの講評数を変更できるようにし、それぞれのラベル名、最大文字数を変更することができるようにしました。

3.9 WebClass ユーザ活動情報 プラグイン v2.1.1 -> v2.2.0

- コースでの活動状況画面に、出席状況一覧を追加しました。
- 英語表記のネイティブチェックにて指摘のあった言葉について修正をおこないました。